

イベントのお知らせ

# 生活のデザイン

## ハンセン病療養所における自助具、義肢、補装具とその使い手たち

国立ハンセン病資料館にて開催中の企画展「生活のデザイン ハンセン病療養所における自助具、義肢、補装具とその使い手たち」では、かつてハンセン病患者の強制収容の場であったハンセン病療養所で作られ、使われてきた自助具、義肢、補装具の実物や、関連する文学作品、映像、写真など約280点を展示しています。本展開催に合わせて、担当学芸員によるトークセッション、ワークショップ、ギャラリートーク（対面/オンライン）、講演会を開催します。隔離政策によって自由を奪われてもなお、さまざまな道具を使って障害と共に生きた回復者たちの思いと、彼・彼女たちに寄り添ってきた義肢装具士の創意工夫にふれてみませんか。



プロミン注射へ [東北新生園] 1955年  
右側の人物がブリキの義足を着けています

社会復帰のみが更生ではない。  
歩けないものが歩き、箸を持たなかつた者が箸を持ち、  
フォークを持てなかつた者がフォークを持つことが更生である。  
自主自由とはかかることを意味しなければならない。

田代馨（多磨全生園）「不自由者の自主性ということ」



オーダーシューズ [多磨全生園] 2019年撮影  
機能と愛らしさを兼ねそなえた靴です

会期:2022年3月12日(土)-8月31日(水)

会場:国立ハンセン病資料館 2階 企画展示室

休館:月曜日および「国民の祝日」の翌日

(月曜日が祝日の場合は開館)

観覧料:無料

### 関連イベント

- ①トークセッション「生活のデザイン」をめぐって（オンライン）
- ②ワークショップ「ブリキの義足」を作ってみよう（対面）
- ③④ギャラリートーク（対面/オンライン）
- ⑤講演会「生活のデザインができるまで」（オンライン）

詳細は裏面をご覧ください。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため内容等を変更する場合  
があります

\*小学生以下の方のご参加は保護者の方と御一緒にお願いします

\*各イベントのお申込みは本展公式サイトをご確認ください

協力：国立療養所多磨全生園 ほか

## イベントのお知らせ

国立ハンセン病資料館 企画展

# 生活のデザイン

ハンセン病療養所における自助具、義肢、補装具とその使い手たち

## ①トークセッション

### 「生活のデザイン」をめぐって（オンライン）

展示制作の過程で印象に残った様々なエピソードを、担当学芸員2名による対談形式でお伝えします。使い手と作り手それぞれの思いをめぐるお話です。

【日時】 2022年6月17日(金) 19:00~20:30

【定員】 先着100名、事前申込み制、参加無料

【申込開始】 2022年5月1日(日)



担当学芸員 (左)西浦直子 (右)吉國元



ラジオカセットコーダー  
[多磨全生園] 年不詳

## ③ギャラリートーク（対面）

担当学芸員が、ひとつひとつの道具の背景にふれながら展示をご案内します。

【日時】 2022年3月30日(水) 4月23日(土)

5月1日(日) 5月3日(火) 5月5日(木)

6月4日(土) 7月23日(土) 8月28日(日)

各回13:00~13:45

【会場】 当館2階 企画展示室

【定員】 各回 当日先着10名 事前申込み不要 参加無料



ギャラリートーク(対面)の様子

## ④ギャラリートーク（オンライン）

展示室から、担当学芸員がオンラインで展示をご案内します。

【日時】 2022年5月28日(土) 6月12日(日) 8月31日(水)

各回13:00~13:45

【定員】 各回先着50名、事前申込み制 参加無料

【申込開始】 2022年5月1日(日)

## ②ワークショップ

### 「ブリキの義足」を作つてみよう（対面）

かつて患者さんが発明し、製作・使用してきたブリキの義足。手を動かし、身近な材料で実際に作つてみることによって、道具に込められた工夫への理解を深めます。

講師：担当学芸員

【日時】 2022年7月30日(土) 8月14日(日)

各回10:00~11:30

【会場】 当館1階 ロビー

【定員】 各回先着5組まで 1組あたり3人まで  
参加無料

【対象】 小学生以上

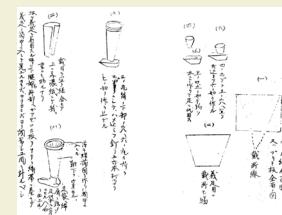
【申込開始】 2022年7月1日(金)

※カッターを使用する工作となります。

小学生の方は保護者同伴でお願いします。



義足(工作)



全生病院(現 多磨全生園)の患者さんが作成した  
ブリキの義足の図面

## ⑤講演会「生活のデザインができるまで-願いをかたちにする人びと-」（オンライン）

国立療養所多磨全生園の義肢装具士をお招きし、義足や補装具の作り手としての体験談や思いを伺います。

詳細は決まり次第当館HPでお知らせします。

【日時・講師】 各回13:30~15:00

2022年7月31日(日) 菅野太洋さん (多磨全生園義肢装具士 写真右)

2022年8月6日(土) 後藤直生さん (多磨全生園義肢装具士 写真中央)

【申込開始】 2022年7月1日(金)

【協力】 国立療養所多磨全生園



北高さんの居室 [多磨全生園] 2019年撮影

〈お問い合わせ先〉 国立ハンセン病資料館

〒189-0002

東京都東村山市青葉町4-1-13

TEL : 042-396-2909 FAX : 042-396-2981

E-mail : pr@hansen-dis.jp

\*各イベントのお申込みは本展公式サイトをご確認ください



本展公式サイト